

気候情報

2009年5月の日本の天候

○東日本太平洋側を除き全国的に少雨

○北日本と東日本で顕著な高温

5月の天気概況

上旬は高気圧に覆われて晴れる日が多かった。中旬からは天気は周期的に変わったものの、低気圧は日本海を進むことが多くまた発達することも少なかったことから、東日本太平洋側を除いた全国で月降水量が少なかった。特に、西日本と東日本日本海側では月降水量はかなり少なく、西日本太平洋側は地域平均の統計をとり始めた1946年以降、5月としては最も少ない記録を更新した。なお、上旬と下旬には寒気を伴った低気圧が本州の南岸をゆっくりと進み、太平洋側では天気のぐずついた時期があり、東日本太平洋側での月降水量は多くなった。

一方、沖縄・奄美では、月前半は高気圧に覆われたため、晴れて降水量の少ない状況が続いた。月後半からは前線の影響により曇りや雨の日が多くなった。

北日本から西日本にかけては、中旬の一時期を除き寒気の影響を受けにくく、気温は平年より高く経過した。特に、北日本と東日本の月平均気温はかなり高く、北日本は1946年以降で1970年、1956年と並び5月としては最も高い値となった。一方、沖縄・奄美では、上旬と下旬に寒気が流入したことから月平均気温は低くなった。

上旬：期間のはじめと終わりは高気圧に覆われて全国的に晴れたが、4日から8日にかけて寒気を伴った気圧の谷がゆっくりと本州付近を通過し一部で雷雨となったほか、東日本と西日本では曇りや雨のぐずついた天気となった。沖縄・奄美は、高気圧に覆われて晴れの日が多かったが気温は低く経過した。

中旬：天気は数日周期で変わった。12日からと13日にかけてと16日から18日にかけては日本海を進んだ低気圧の影響でほぼ全国的に雨となり、低気圧が北海道付近で発達した18日は北日本の一部では暴風となった。14日から16日は高気圧に覆われたものの、寒気の影響で北・東日本を中心に気温が下がった。一方、晴れの日が続いていた沖縄地方と奄美地方では、18日頃からは前線の影響で曇りや雨となった。

下旬：前半は日本海と日本の南を東進した低気圧や上空の寒気の影響で全国的に曇りや雨となり一部では雷雨となった。その後26日にかけては移動性高気圧に覆われて全国的に晴れたが、27日からは上空に寒気を伴った低気圧が日本の南岸をゆっくりと東に進んだため全

局的に天気がぐずつき、東日本太平洋側の一部では大雨となった。沖縄・奄美では曇りや雨の日が多かった。

5月の気候統計

月平均気温：北日本と東日本でかなり高く、西日本で高かった。一方、沖縄・奄美では低かった。

月降水量：東日本日本海側、西日本でかなり少なく、北日本、沖縄・奄美で少なかった。これらの地域では平年の40%未満となったところがあった。一方、東日本太平洋側では多かった。

月間日照時間：沖縄・奄美でかなり多く、北日本日本海側と西日本太平洋側で多かった。一方、東日本では少なく、北日本太平洋側と西日本日本海側では平年並だった。

(気象庁観測部統計室)

5月の記録(1位更新のみ)

・月平均気温高い方から(°C)

大船渡 15.3

・月降水量少ない方から(mm)

山形 19.5 石巻 22.5 福島 14.0

小名浜 37.5 萩 31.0 福山 27.0

高知 48.5 延岡 105.0 枕崎 31.0

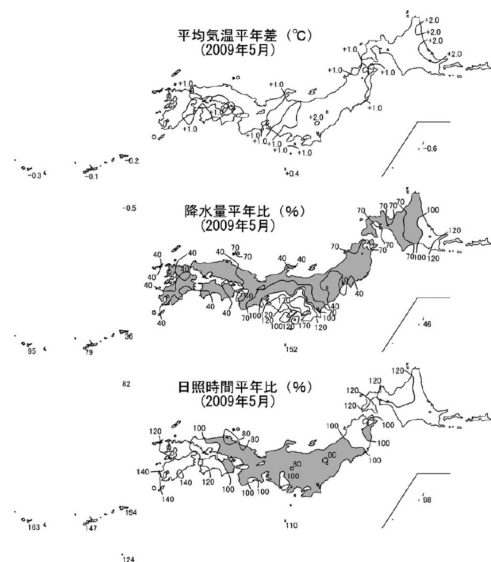
油津 131.5

・月間日照時間多い方から(時間)

油津 222.6 屋久島 228.3 種子島 222.0

沖永良部 213.8

2009年5月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。